

## 議員特別研修実施報告書

報告議員名	土田 百合子	報告日	令和8年3月31日
調査研究・研修等 名 称	生成AI (チャットGPT) の基礎		
実 施 日	令和8年3月26日～		
会 場	資料・動画により受講		
調査研究・研修等の 概 要	別紙のとおり		
調査研究・研修等の 成果と感想	別紙のとおり		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。

令和8年3月31日

特別研修報告書

報告者 土田百合子

～議員活動に役立つ実践スキル～

生成A I チャットG P Tを活用した

質問づくり最新セミナー

議員活動をアップデート

講師 宮本正一（元 寝屋川市議会議長、日本公共経営研究所代表）

□セミナーの目的は、生成A I の理解と、議員活動への実践的応用の獲得をめざしている。

1部、「まずアプリを入れてみよう」から始まり、第2部、「A I にできて、議員にできないこと」、第3部、「効果的な指示の方法や、活用事例」、第4部、「C h a t G P Tで簡単！質問づくりの下準備」講義内容となっている。

所感

今回はじめて、オンラインでの生成A I チャットG P Tの基礎を学ぶことができた。講師の日本公共経営研究所 宮本正一所長は、市議20年、多くの選挙対策本部で事務局長をされた方であり、地方自治体の現場をよくご存知の方で、現場感覚に基づく分かりやすい説明

で、この学びを生かし、議会での質問や質疑の質を上げていきたいと思った。講義では、AIの弱点として、電源を切ったら死ぬ、ゼロからは何も作れない、喜怒哀楽がないなどの3つ。しかしながら、どんどんデジタル化は進んでいく。これまでの1763年頃からの産業革命に始まり、1895年ラジオ、1946年コンピューター、1997年Wi-Fi、2020年AI基準が出来、2030年に向けてもっと進化していく。政治家はある程度AIを知らないと置いていかれる。大事なのは、政治家がどうAIを使いこなせるか、選挙でもAIを使うが、最後は人力である。置いてきぼりにならないために、どうあるべきか。講義を受け、まずはアプリを入れ挑戦するしかないと思った。AIを使う注意点として、ハルシネーション、もっともらしい嘘をつくことがある。結論的にはAIは、道具であり、使いこなすのは議員自身であること。必ず公式資料等で事実確認が必要であり、AIは、あくまでも補助輪、最終的な判断は必ず自分自身が行うことが重要であることを学んだ。今後、ますます進化していくテクノロジーを味方に、より力強い議員活動を展開する事が出来たら素晴らしいと思う。これからも、現場の声に応じて行ける議員をめざして取り組んでいきたい。

## 講義資料

### ～議員活動に役立つ実践スキル～

## 生成 AI（ChatGPT）の基礎

2026年3月10日作成

講師：宮本正一（日本公共経営研究所）

### 講師プロフィール

- ・1967年生まれ／大阪府寝屋川市出身
- ・元寝屋川市議会議員・第54代議長
- ・ボストン・ウェントワース工科大学卒／神戸大学MBA／大阪市立大学医学博士(公衆衛生学)
- ・橋下徹氏の大阪府知事選挙を含む18の選挙対策本部で事務局長
- ・著書：『サービス産業経営論』

### セミナーのアジェンダ（会議の議題）

## ◎目的：生成 AI の理解と、議員活動への実践的応用の獲得

□1部のまずアプリを入れて触れてみよう

□ChatGPTとは

・OpenAI社の生成AI　・膨大な言語データから自然な文章を生成　・世界で広く利用される対話型AI

・できること：質問応答／文章作成／翻訳／要約／表作成／アイデア出し

▶「まるで専門家と話している感覚」で壁打ちが可能

## □ ChatGPTの始め方

- ・スマホアプリ：App Store/ Google Play の「ChatGPT
- ・Web版(要アカウント作成) ・無料で利用可能 ・会話履歴の保存

▶ コツ：「ゆっくり・具体的に」伝える

## □ 2部、AIにできて、議員にできないこと

### AIと議員の役割分担

#### 【AIが得意なこと】

- ・膨大な情報の整理・要約・24時間365日即時対応、多言語対応・翻訳ができる。

#### 【議員にしかできない事】

- ・現場の空気間を読んだ判断・市民との信頼関係の構築
- ・政治的責任を伴う意思決定・地域固有の文脈理解

▶ 結論として、AIは道具。使いこなすのは議員自身

## □ 3部 効果的な指示の方法や活用事例

プロンプトのコツ（指示の出し方）

- ①役割を与える ②5 W I Hで具体化 ③出力形式を指定
- ④対象読者を明示 ⑤5 修正を重ねる。

※プロンプトのコツとは（指示の出し方）何をしてほしいかを伝える  
る命令文や問いかけ

▶ AIの指示は「具体的な条件設定」と「対話による修正」が鍵

## □議員活動での具体的活用事例

- ・一般質問のたたき台作成
- ・SNS・議会報告の文章作成
- ・先進自治体の事例調査
- ・統計データの解釈
- ・要約
- ・住民向け資料の分かりやすい説明文作成
- ・海外先進事例の収集

## □AI を使う際の 3 つの注意点

- ①個人情報 は絶対に入力しない
- ②ハルシネーション（もっともらしい嘘）注意
- ③AI は「補助輪」最終判断は議員自身

## □4部 ChatGPT で簡単！質問づくりの下準備

### □AI を「一人壁打ち相手」として活用

- ①テーマを AI に投げる
- ②AI がたたき台を作成
- ③議員自身が取捨選択・修正
- ④市民の立場から見直し

▶ 合い言葉：「AI が作る → 議員が磨く → 市民に届ける」

### □質問設計の「質問の木」

ポイント：根拠から質問を組み立てると行政が答えざるを得ない質問になる

## ◎本日のまとめ

### □AI は議員の政策参謀 今日から始める 3 つのアクション

- ①今日から ChatGPT をインストールして試す
- ②次の一般質問で AI をたたき台作成に活用
- ③最後は自分の判断と言葉で届ける

▶ テクノロジーを味方により力強い議員活動を